

件名	<第5回 蒲田都市づくり推進会議 議事概要>	
日時	平成25年7月30日(火) 午前10時～12時	場所：大田区立消費者生活センター2階大集会室
出席者	委員23名(うち3名代理) 傍聴者：15人	
配布資料	第5回蒲田都市づくり推進会議資料	

(以下、敬称略)

開会・挨拶・資料説明

- ・幸田副区長より挨拶
- ・中井座長より、開会挨拶

資料説明

- ・事務局より、蒲田都市づくり推進会議設置要綱、蒲田都市づくり推進会議の検討体制とスケジュール(資料1)、蒲田駅周辺再編プロジェクト(素案)パブリックコメント速報(資料2)の説明

意見交換

1) 蒲田駅周辺再編プロジェクト(素案)のパブリックコメントについて

座長)

パブリックコメントは、いつ頃確定になるのですか。

大田区)

現在のものは速報です。関係部局と調整を図り、8月中旬に確定します。

座長)

最終的にはどういう形で区民の方に返答するのですか。

大田区)

8月21日以降、結果をホームページに掲載します。8月21日号の区報で、その旨をお知らせします。

資料説明

- ・事務局より、東口駅前広場、東口地下自転車駐車場に関する検討(資料3)の説明、バーチャルリアリティ(VR)の放映

意見交換

2) 東口駅前広場、東口地下自転車駐車場について

大田区)

本日欠席の国土交通省の東企画専門官から意見を頂いているので、読み上げます。

1点目は、快適な歩行者空間作りには、大規模な自転車駐車施設を利用する自転車利用者の安全な走行空間の確保、バス利用者(高齢者等)の利便性の確保等、様々な社会的要請に対応することが必要です。土地の広がりにも制約がある中で、全ての利用者が100%満足を満たす答えを出すことは困難ではあるが、各利用者の視点に立った議論を積みかさねながら、全体として満足できる計画となるように検討を深めてください。

2点目は、駅前空間は高齢者等にとってアクセス・利便性の高いエリアであり、生活に必要な商業、医療、福祉等の立地促進についても再編プロジェクトの一環として検討してください。

3点目は、駅前空間は地域の顔であるので、公共空間と民間空間が一体となった景観形成のルール作り等が必要と考えます。

副座長)

タクシー乗車場は優先すべきだが、タクシー待機場台数は検討課題だと思います。駅前広場のタクシー待機場の検討状況を教えてください。

地下自転車駐車場を作るにあたって、出入口を自転車の走行レーンと一体的に考えていくという検討は良いと思います。そういうことが1つ1つ積み重なって行くと自転車利用者にもルールを守っていただけるよう実態も変化してきます。

地下自転車駐車場の出入口について、補助36号線の駅直近の交差点付近に設置する場合、横断歩道の先(交差点西側)に設置すると、車道を走行してきて、出入口の直近で自転車から降りるのか、手前から自転車を降りて歩道を押し歩くのか、運営面も含めた検討が必要です。横断歩道の手前(交差点東側)に設置すると、反対車線に出口が出来ない限り、自転車駐車場から出る自転車が自転車レーンを逆走する事が常態化する懸念がある。出入口位置については、将来の段階整備を考えた決断が必要です。

駅前広場南側の出入口について、環状八号線以南からのネットワークを考えると、駅街路2号線に作るより、区役所前の道路に設置した方が、安全に利用でき、現実に照らした1つの案として良いと思います。

大田区)

タクシーについて、警察と協議中であり、駅街路2号線に滞留しているタクシーは課題であると指摘を受けているが、現段階では進捗はありません。

駅前広場内に必要なタクシー待機場の台数については、理論上の数値を押さえ、それ以上に来るタクシーについては、警察やタクシー事業者と今後協議したいと考えています。ショットガン方式についても警察から提案を頂いており、今後合わせて検討して行きます。

座長)

駅周辺交通調整部会には、タクシー事業者も参加するのですか。

大田区)

昨年度に引き続き鉄道事業者のJRと東急、今年度からバス事業者の東急バスと京急バス、タクシー事業者の公益財団法人東京タクシーセンター、一般財団法人東京ハイヤー・タクシー協会、社団法人東京都個人タクシー協会が参加します。

委員)

自転車レーンについて、屋井先生の仰る通り、地下自転車駐車場に辿り着くまでのアクセスを考える必要があると思っています。

商店街で人と自転車が混在していることについては、今後、どのように解決するのか検討が必要です。

また、駅周辺にある他の自転車駐車場と自転車レーンをいかに結ぶのか、自転車レーンの配置については、全体で検討すべきで、検討されているのであればここで教えてください。

大田区)

自転車の全体的な走行ネットワークについては、大田区自転車等駐車対策協議会で蒲田駅周辺を含めた、大田区内全体の自転車走行ネットワークを検討しています。

自転車走行レーンについては、環状八号線や国道まで伸ばしたいと考えており、それによって広域的なネットワークや、将来的には両側に自転車レーン設置を視野に入れながら全体的な自転車走行空間と、歩行者との分離、それによって、より円滑な交通処理を考えています。

委員)

国道からの自転車レーンではなく、バス通りに沿った自転車レーンの必要性や、点在する自転車駐車場についてどのように考えるのか、しっかり資料に落とし込んで議論すべきだと思います。

大田区)

自転車ネットワークの必要性は承知しております。今後、それらも含めて、検討してまいります。

委員)

補助36号線のバス乗降場の移設について、商店によってはバス待ちのお客様を見込んでいる場合もあるので、地元商店街に早めにアナウンスしてください。乗車も降車も全て集約するのは厳しいイメージを受けます。

みずほ銀行前の交差点は信号が守られず、危険な交差点です。地下自転車駐車場の出入口を設置することで、自転車交通量が増え、更に危険が増す可能性があります。側道から入って来る自動車交通は、ある程度排除するといったことも考える必要があるのではないのでしょうか。

座長)

全てを集約すると窮屈な感じはあります。デッキが設置できれば、歩行者動線が分離できて、配置が楽になるかもしれません。今後、全部集約した案もVR等を見ながら、少し検討をしてみても良いのではないのでしょうか。

副座長)

自転車ネットワークの検討は大田区全域が対象で、蒲田駅周辺については、厳密に検討していません。蒲田都市づくり推進会議の検討を待つて整合を図る考えでいました。参考情報であるが、最近では東京都、国土交通省の東京国道事務所等と一緒に、大田区内の国道等での走行空間を検討していますので、それらとも整合を図りながら、今後、検討が必要です。

大田区)

現在、交通管理者とも協議中なのですが、東口の駅前広場の北側は、環状八号線方向に右折できない可能性があります。タクシー・一般車が環状八号線方面に行けないのは不便だと思いますので、中央に転回路をつけたらどうかというのが、資料にあります。この転回路の有無について、感覚的で構わないので、ご意見を伺いたいのですが。

委員)

下丸子、矢口方面にお住まいの方で、蒲田駅利用者も多いです。タクシーで環状八号線方向に右折できない場合は、かなり迂回することになりますので、右折ができないのなら、転回路はあった方が良いと思います。

資料説明

・事務局より、西口駅前広場初動期整備計画の検討の説明、バーチャルリアリティ（VR）の放映

意見交換

3) 西口駅前広場初動期整備計画の検討について

委員)

南側の駅前広場の大木は移設しても良いと思いますが、交通島の巨木は残してほしいです。北側の緑地帯だけでなく、アーケード入り口の低木の緑地帯と西側の横断歩道横の低木の緑地帯は、スペースを取るし、ごみも溜まっているので、撤去したほうが良いと思います。

委員)

駅前広場について、駅ビル北側の道路と、JR線路横の自転車駐車場になっている道路も含めてどうするか考えるべきだと思います。バス運転手用のトイレもどうするのか考えてください。

委員)

JR新橋西口駅前広場は、雨水を地下の雨水貯蓄槽に貯めて散水をする装置（ヒートアイランド対策）があるようだが、蒲田駅前広場でも考えたら良いと思います。

大田区)

様々な機能の可能性について検討に加えたいと考えていますので、皆様からご意見を頂きたいと思っています。

委員)

西口は、環八へのアクセス動線が繋がっていない。防災時に駅に来た車が東急線の踏切で停まり外に出られません。この推進会議の中では言わないが、西口の車のアクセスについても将来検討してください。

座長)

駅前広場のイメージについて、例えば白っぽくするのか、黄色にするのかでイメージが大きく変わる、検

討方向としてどちらが良いか、地元を持ち帰って議論して頂くことは可能でしょうか。

大田区)

是非お願いします。持ち帰って頂き、地元の意見をお伺いしたいです。

副座長)

駅前広場には低木等の植栽はあまり馴染まないと思います。高木の様な日陰の空間を作ることは重要であり、交通島にあるような残せる緑は残して、地元のニーズに合った空間にしてください。

西口はタクシー乗り場や台数、歩行者の滞留空間の面積割合等が既に決まって、デザインや色の話に至っているのでしょうか。

大田区)

西口は種地が無く、直ぐに整備出来ないため、初動期については実現性の高いフラット化や北側の植栽の再配置を整備する考えです。パブリックコメントでも、西口の駅前再整備は中長期で議論してはどうかと言う意見もありました。新空港線「蒲蒲線」等の動きとも連動して、中長期整備として検討して行きます。

その他

・今後の日程

第6回蒲田都市づくり推進会議：

平成25年10月31日(木)10:00~12:00 大田区立消費者生活センター2階大集会室

平成 25 年度 蒲田都市づくり推進会議 構成員名簿

学識経験者

委員

東京工業大学大学院 社会理工学研究科教授	中井 検裕	【座長】
東京工業大学大学院 総合理工学研究科教授	屋井 鉄雄	【副座長】

地元関係者

委員

蒲田東地区自治会連合会	小山 君子	
蒲田西地区自治会連合会	藏方 庸光	
蒲田東口商店街商業協同組合	田中 彰一	
蒲田西口商店街振興組合	片山 篤榮	
蒲田東口地区まちづくり協議会	藤田 静男（欠席）	飯尾 松男（代理出席）
蒲田大好き委員会	望月 清志（欠席）	
蒲田再開発推進委員会	田中 常雅	
特定非営利活動法人 大身連	宮澤 勇	

大田区議会議員

委員

都市・環境委員会 委員長	岡元 由美	
都市・環境委員会 副委員長	深川 幹祐	

東京都

委員

担当

都市整備局都市基盤部 街路計画課長	朝山 勉 （欠席）	大野 誠（欠席） （区部街路計画係長）	松岡秀一（代理出席） （区部街路計画係主任）
都市整備局都市基盤部 交通企画課長	池内 光介 （欠席）	林清一郎（代理出席） （交通施設担当係長）	白勢 和道（欠席） （交通施設担当係主任）
都市整備局都市基盤部 交通企画課		安田 剛之 （交通施設担当係長）	

大田区

委員

担当

まちづくり推進部長	川野 正博		
まちづくり推進部 再開発担当部長	八嶋 吉人		
まちづくり推進部 まちづくり管理課長	黒澤 明	渡部 正美（欠席） （まちづくり企画担当係長）	
まちづくり推進部 交通企画担当課長	吉田 春彦 （欠席）	西沢 一成 （まちづくり企画担当係長）	
まちづくり推進部都市開発課長 （蒲田再開発担当課長兼務）	齋藤 浩一	大貫 恵二 （地域整備担当係長）	近江 淳一 （地域整備担当係長）
まちづくり推進部 蒲田再開発担当副参事	近藤 純司	菊地 裕之 （地域整備担当係長）	
まちづくり推進部 防災まちづくり担当課長	落合 邦男	倉 一郎 （防災まちづくり担当係長）	
都市基盤整備部 都市基盤管理課長	畑元 忠	小泉 謙二郎（欠席） （計画調整担当係長）	岡本 慎一 （地域交通対策担当係長）
都市基盤整備部 蒲田まちなみ維持課長	高橋 義博	貝塚 悟 （自転車対策担当係長）	
連続立体事業本部長 （連続立体事業課長事務取扱）	荒井 昭二		
連続立体事業本部 連続立体事業再開発担当課長	岡田 誠	安元 綾子 （連続立体再開発担当係長）	

国土交通省

オブザーバー

都市局 街路交通施設課企画専門官	東 智徳 （欠席）		
---------------------	--------------	--	--

